

## 今後の感染拡大に備えた

## 社会的インフラを継続的に維持するための検査（社会的検査）の対応について

## 1 主旨

社会的インフラを継続的に維持するための検査（社会的検査）について、今冬においても新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）の感染拡大や、さらに季節性インフルエンザ（以下、「インフル」）の同時流行も懸念されることから、以下のとおり施設および家庭における感染拡大防止のための抗原定性検査キットを配付するとともに、令和5年3月まで社会的検査の実施を延長する。

## 2 施設および家庭における感染拡大防止のための抗原定性検査キットの追加配付

今年6月下旬から7月上旬にかけ、感染拡大時期の備えとしてマスクの着用が難しくソーシャルディスタンスがとりづらい区内の保育園、幼稚園等の利用者及び同居する家族を対象に施設および家庭における感染拡大防止用として新型コロナの抗原定性検査キット（以下、「簡易キット」）を配付した。

今後新型コロナの感染拡大が想定される今冬はインフルの同時流行も懸念されており、双方を踏まえた感染対策が必要であるが、一方で国から承認を受けたインフルの検査キットについては薬機法上、自治体からの配付ができないことから、10月17日厚生労働省事務連絡「季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症の検査体制の強化について（依頼）」に基づき、あらためて感染拡大時期の備えとして新型コロナの簡易キットを追加配付する。

## (1) 対象者

区内の保育園、幼稚園等の利用者及び同居する家族

## (2) 実施方法

対象施設へ、利用者の世帯に対して簡易キットを一律2個配付する。

※使用対象は子どもも含め家族を対象とする。

## (3) 配付予定数量

72,000キット

【参考】令和4年度上半期配付実績：72,425キット

## (4) 配付予定時期

令和4年11月上旬以降

## 3 社会的検査の実施期間延長

今冬も新型コロナの感染拡大やインフルエンザの同時流行も懸念されることから、国や都の動向等を踏まえつつ、社会的検査を令和5年3月末まで継続して実施する。

<現行>令和4年4月1日～令和4年12月末まで

<延長後>令和4年4月1日～令和5年3月末まで

## 4 随時検査予定数、簡易キット配付予定数の変更

上記2、3の実施に伴い、令和4年度（令和5年3月まで）における随時検査及び簡易キットの予定数量を、下表のとおり変更する。

※1～3月も第7波時と同等の体制とする	当初想定 (4月～12月)	10月時点想定 (4月～3月)
随時検査	46,000件	<u>28,200件</u>
簡易キット	55万キット	<u>63.5万キット</u>
(内訳)		
随時検査の補完	362,000	451,000
行事前検査	114,000	38,000
施設および家庭における感染拡大防止	74,000	146,000

※随時検査については、第7波が当初想定より遅れて到来したことにより、4～6月の検査数が大幅に減少したため、実績を踏まえ、下方修正する。

## 5 所要経費

事業費と補助金については以下を見込み、第5次補正予算案に計上する。

なお、上記「2 施設および家庭における感染拡大防止のための抗原定性検査キットの追加配付」に係る費用については、感染拡大が想定される12月以降に備えるため、令和4年度予算「地域医療整備」に計上した社会的検査事業委託料（費用）の範囲内で、一部先行して実施する。

既存予算（4月～12月）1,344,280千円…①

変更後予算（4月～3月）1,482,539千円…②

②－①（第5次補正予算案） 合計金額 138,259千円

## 【参考】金額内訳

区分	事業費見込み
随時検査 (行政検査)	(4月～3月分) 840,694千円 ※特定財源：(国)感染症予防事業費等 負担金等1/2 ※残りの1/2は地方創生臨時交付金の算定に含まれるため、実質的に全額国費 【主な内訳】 ・人件費、コールセンター運営費等（総価払分）444,223千円 ・検査測定及び緊急採取費等（単価払分）396,471千円 （1検体あたり検査費用単価：@6,160円）
抗原定性検査	(4月～3月分) 641,845千円 ※特定財源：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金10/10 【主な内訳】 ・検査関連費用（単価払分）569,246千円 （1検体あたり検査費用単価：@869円）

## 6 今後のスケジュール（予定）

11月

令和4年第4回区議会定例会へ補正予算案提案